

世界の政策と緑地計画

～PlaNYC 2030 - A Greener Greater New York と緑～



自然・環境マネジメント研究部 環境計画研究グループ

赤澤 宏樹

グローバル化や技術革新によって働く場所の選択肢が増えて、成長のために世界中で人口(労働者)の確保が重要になっています。「住みたいまち」づくりもその影響を受けていて、緑そのものと環境行動をあわせた考え方“Green”が政策の中心に据えられることが増えています。

「あらゆるところに住む場所の選択肢がある時代において、才能ある労働者がどういったところを選ぶのか、ということである。素晴らしい公園やきれいな空気は、余計な飾りとは考えられていない。」(PlaNYC序章より)

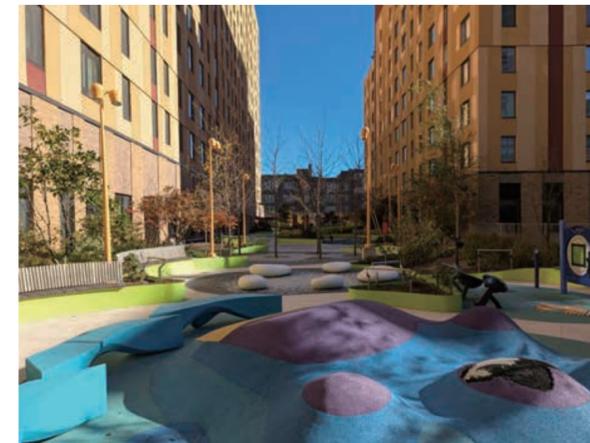
NY市では、10年間で100万本の地域樹木を植樹するMillion Tree Projectが完了し、公園のリノベーションや道路の歩行者専用化によってGreenを中心としたまちづくりを進めています。



コミュニティとの協働で進められた100万本植樹



リノベーションされた地域の公園



子育てに配慮した住宅開発



地域住民がつくり運営するコミュニティガーデン



車社会からの転換を象徴する電動自転車サービス



民間事業者が整備した公園